

経営比較分析表（令和6年度決算）

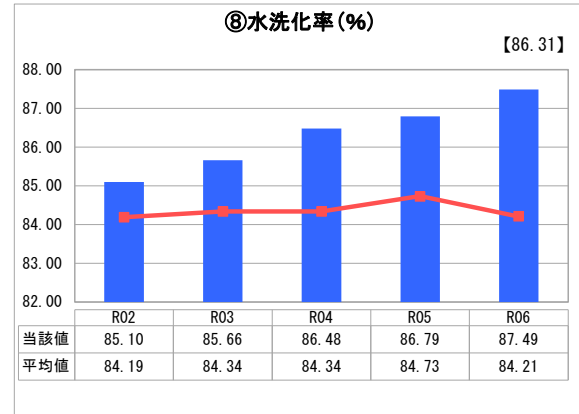
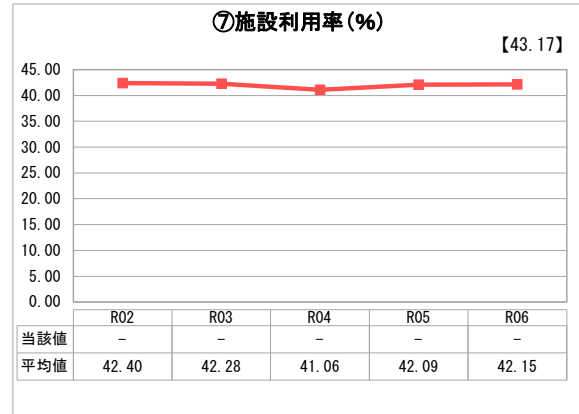
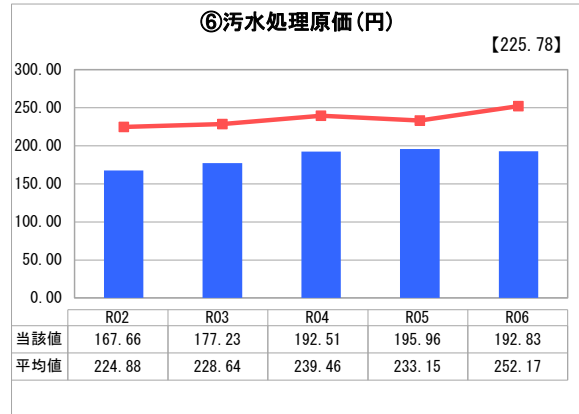
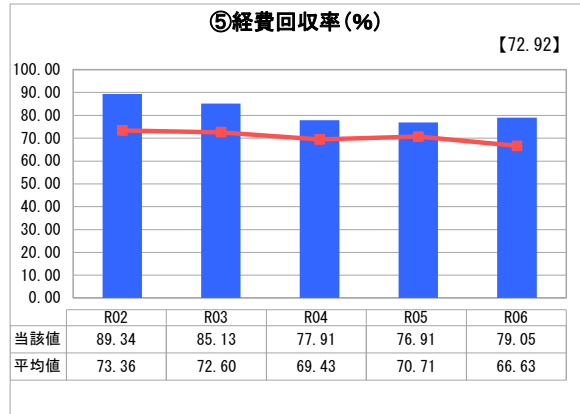
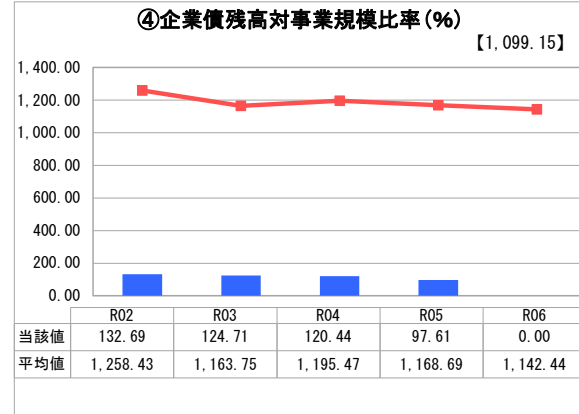
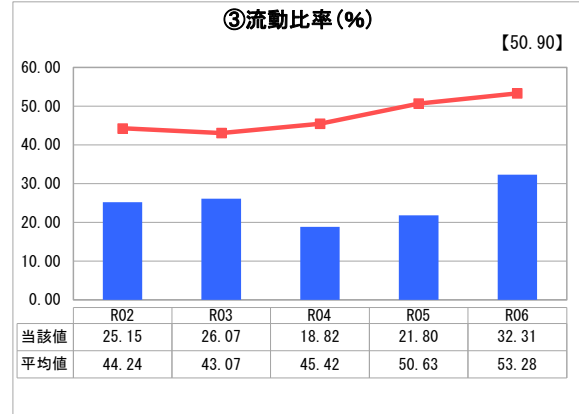
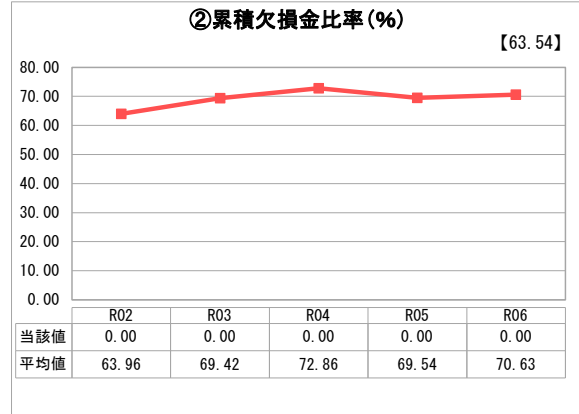
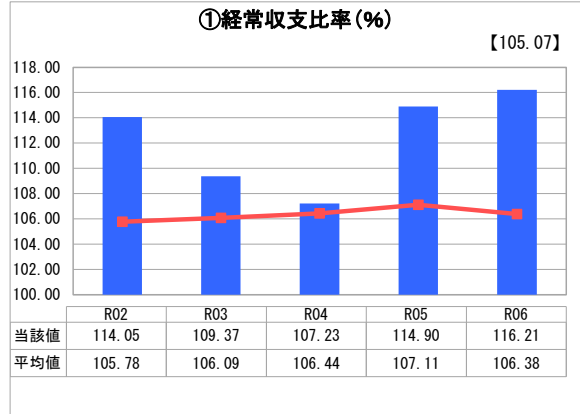
熊本県 あさぎり町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	66.35	82.60	100.00	3,300

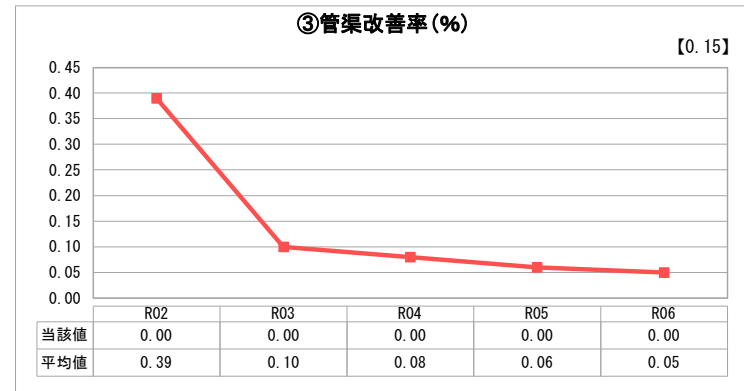
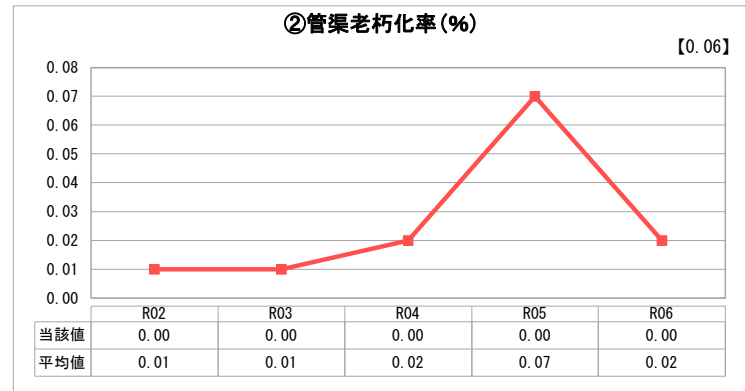
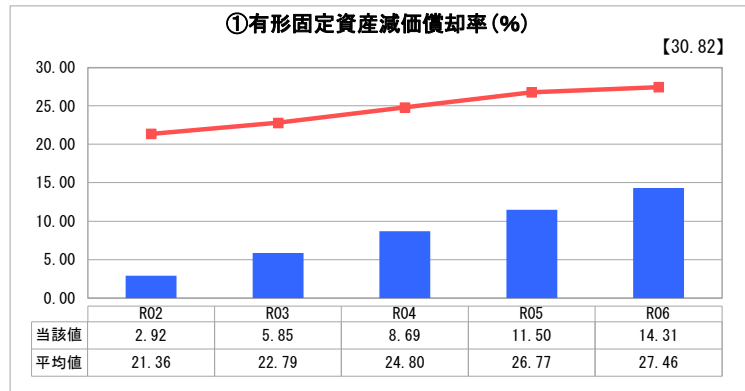
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,058	159.56	88.10
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,471	6.68	1,717.22

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については100%を超えており、類似団体と比較しても良好な経営状況と考えられます。しかし、経常収益における一般会計からの繰入金比率が高いこと、経常経費における流域下水道維持管理負担金や企業債償還額の比率が高いことを考慮すると、今後の経営状況は厳しくなるものと考えています。令和7年度において、健全な経営を確保することを目的とした経営戦略の見直し業務に着手しており、財政計画の見直しを適正な料金価格検討を含めたいと考えております。

2. 老朽化の状況について

本町の下水道施設整備は平成27年度に完了しており平成11年の流域下水道の供用開始から27年が経過しております。管渠については法定耐用年数の期間に余裕があるため更新の予定はありません。機械設備のマンホールポンプにおいては耐用年数を迎えてきており、順次計画をたて改築を行っておりますが、耐用年数内でも定期点検において不具合が生じた設備については緊急的に改築を行うなど、今後も維持管理を徹底する必要があります。

全体総括

今後は機械設備更新を計画的に進めていくこととしております。経営戦略の見直しにより、機械設備更新等の財源確保に向けた見直しを行うことで経営の健全化に努めることとしております。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。